

# 常盤台町会

当町会は東武東上線の線路を南限に位置し、町会の中心を環状七号線が東西に貫いています。

町会にとって自慢の一つは石神井川の桜です。兩岸から川面を覆う桜は“見事”向屋敷橋からの眺めは区内随一といえるでしょう。

二つ目は町会員の仲の良さです。秋の祭礼の際の炊き出しは、他町会にはあまり見られない独特の伝統となっています。神酒所の脇に即席のキッチンを設け、婦人部有志による心づくしの家庭料理が振る舞われ、おふくろの味は若い世代に受け継がれています。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により、祭礼をはじめ行事の殆どを中止し、顔の見える活動は制限することになりました。新一年生へのお祝い、成人のお祝い、敬老の日のお祝いは集まって開催するのではなく記念品贈呈のみで行っています。隣近所とのふれあいが少なくなっている昨今、こんな時だからこそ近所さんをつなぎ、心と心を結び、明るく、あたたかい町会であるよう、これからも絆を深めていきたいと思っております。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



石神井川の桜